



わ
だ
い

おと高等学校祭 & 木の手づくり展

Otoineppu public relations magazine
森とともに一人ひとりの匠が活躍する村

広報 おといねっぷ no.599

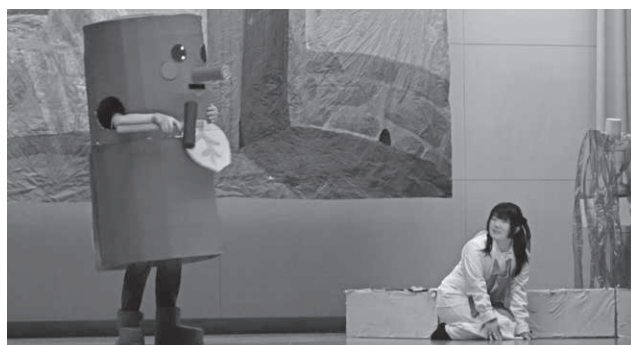
2024
令和6 8

個性・芸術・表現力爆発！！おと高祭！！

今年の学校祭は久しぶりに7月20日、21日と2日連続一般公開となり、普段展示されていないおと高生の「趣味展」が各教室で行われたほか、木製キーホルダーやポストカード、寮の食事が出る玉ねぎの皮を利活用して染めたオリジナルトートバッグの販売、保護者の方々による屋外出店などにより、多くの方が訪れ楽しんでいました。

7月に入るとおと高生たちは、学校祭に向けて全力で準備に取りかかります。中でも1日目に開催され、伝統行事となっている学年ごとの「舞台発表」は、脚本から演出、小道具制作まで全て自分たちで作り上げるため、それぞれ役割分担をして協働する力や舞台での表現力などが、学校祭を通して自然と培われていきます。

舞台発表終了後のステージ裏で、達成感による喜びを“爆発”させていたおと高生たち。一人ひとりが、今年の学校祭のスローガン「おと高爆発」を達成していました。



卒業後の道…色んな選択肢…先輩の声を聞く進路講話

平成30年におと高を卒業し、東神楽町の家具製造会社への就職を得て、現在は村の木工体験施設「木遊館」にて、木工指導員として活躍されている『横内颯太』さんが、おと高2年生を対象に進路講話を実施しました。

卒業してから感じた、在校時に多くの時間を制作につき込める恵まれた環境のありがたみを基に、今できることを全力で取り組んでほしいと伝えていました。また、大小さまざまな種類の鉋（かんな）を持ち込み、木工道具の魅力も伝えており、おと高生にとっては普段から馴染みのある道具ということで、鉋くずを見ただけで横内さんの技術力に感動していました。



2024 木の手づくり展

6.29 (土)・30 (日) 第21回旭川展in旭川市民文化会館

7.26 (金)～28 (日) 第45回札幌展inかでの2.7

旭川・札幌会場の全日程合わせて、中学生や保護者を中心とした約600名の方が来場されました。



今年も卒業制作作品を中心に、生徒が授業で制作した木工作品、美術作品が200点ほどを展示。今年は、在校生が中学生や保護者に向けた学校説明会を担当し、スライドや作品を見せながら説明をする新たな取り組みを行ったほか、木製キーホルダー作りワークショップを通して来場してくれた中学生との交流を積極的に図っていました。そのほか、総務課地域振興室にて卒業生作品紹介や村での生活相談などを聞くブースを設け、地域おこし協力隊によるエコミュージアムの宣伝なども実施し、村への集客につなげました。

おと高の先生方に、会場のお気に入り作品を選んでいただきました！

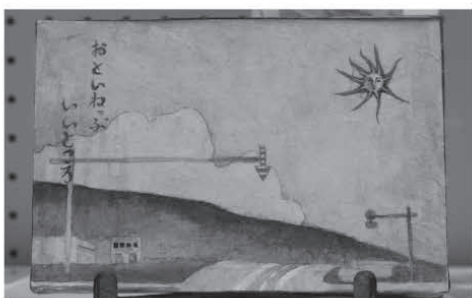
①スツール



②木製コースターデザイン



③ポストカードデザイン



①「〇△□」というスツールは、上の丸い天板が外れるようになっており、下の段に差し込むと傘立てに変化する工夫が斬新。(角南教諭)

②工芸作品制作には欠かせない工具(かんな)を、見事にデザインに落とし込み、かんなくずを猫で表現する楽しい作品。かわいらしいですね。(菊地校長)

③昭和の時代を思い出させる、なんだかとても懐かしく切ない気持ちになれる作品。実際にカラーで見ただくと色味がとても素敵。(菊地校長)

☆おと高生のデザイン作品を、より多くの方に見ていただく新たな機会創出として、今年よりふるさと納税の返礼品にオリジナルデザインコースターとポストカードが、添えられることになりました。ぜひ、手に取ってみてください！

音威子府小中学校開校 10 周年

平成 26 年 3 月 12 日に第 67 回卒業証書授与式を行い、旧音威子府中学校校舎に別れをつけて小学校と中学校の併置校となってから今年で 10 年を迎えました。

小中学校開校 10 周年の記念事業として、7 月 11 日(木)にブルーベリーの植樹を行いました。小中学校の玄関前にある畑に小中学生合同で 6 つのグループに分かれて、それぞれブルーベリーの木を植えました。

ブルーベリーを植えた畑の前には、開校 10 周年を記念して、NPO 法人 eco おといねっぶより寄贈された木製の看板が立てられました。小学校の児童代表の言葉では、小野寺紘生さんが「2 度悪天候により延期になってしまったが、植樹を行うことができ良かった。ブルーベリーを食べるのが楽しみ」と、中学校の生徒代表の言葉では、佐藤伶音さんが「ブルーベリーの植樹という貴重な機会を楽しむことができた。これからも 10 周年を祝う気持ちを忘れずに楽しみながら生活したい」とそれぞれの思いを語りました。

今後 10 周年記念事業として、記念写真入りのクリアファイルを作成が行われる予定となっています。



幼小中高等学校間連携授業

幼児センター・小中学校・おと高による学校間連携授業での交通安全運動啓発に取り組みました。7 月 9 日(火)に、幼児センターの園児 4 名・小学生の児童 4 名・中学生の生徒 5 名とおと高の 2 年生がキーホルダーのやすりがけと接着を行いました。園児や小学生は、慣れないやすりがけをおと高生に教わりながら丁寧に仕上げました。中学生は、おと高生と会話して交流を図りながら作成しました。キーホルダーは木に「おとつきー」が中央にデザインされ、交通安全の字が記されています。

7 月 12 日(金)には、園児・小中学生・おと高生が役場を訪れ、村と駐在にキーホルダーの配布を行いました。袋詰めされたキーホルダーには安全を祈願して「シートベルトをしよう」「スピード出しすぎ注意」などのメッセージも添えられました。おと高生が放課後に道の駅・音威子府駅・セイコーマートでも配布を行いました。



株式会社
北海道クボタ

音威子府村での新人育成研修 14期目の夏 クボタ社員が感じる村の魅力とは

「住んでいる人にとっては、極当たり前のこれだけの自然は、作ろうと思ってもそう簡単に作れないんだよ」と話してくれたのは、2009年から北海道クボタの研修地を音威子府村に決めた業務企画総括部フィールド推進課の斎藤課長・道廣担当部長・企画課服部主事の皆さまです。

北海道クボタは、2007年に咲来地区にて農産物生産地としての地力が低く、耕作放棄地となる土地を活用し、新入社員人材育成研修のフィールド圃場として長年活用いただいています。

北海道クボタが研修で本村に来るのは、今年で16年目になり、研修の中でも2011年から始まった「新人育成基礎研修」は今年で14期目。6月と8月の年2回実施され、6月は全国を含め約35名の新入社員の方々が参加されています。

期間は、準備を含めて各2週間余りで、農業未経験者に対しトラクターの機能を含めて道具・器具の歴史と進化を学び、なぜ『農業にこの様な機材』が必要で、『何をする為の物』や安全かを経験し、これから働く自分の会社の商品の知識を深める研修となっています。実際にトラクターを中心とした基本的な機械のマッチングや、調整と操作/運転を村の農地で行い、技術習得や農業の安全を学ぶ経験を積み重ねています。また、製品研修や新製品の耐久確認など5月末日～10月15日(降雪まで)の期間、圃場含め音威子府村の施設や、資材を使い活動しています。

「音威子府は、広大な土地の中で時間や周囲への音を気にせず、こんなに自由にのびのびと研修ができる贅沢な場所。そして、宿泊先である天塩川温泉は本より、音威子府村役場や村民の方々にはいつも快く受け入れていただき、大変感謝しています」と、他の社員の方がうれしそうに話されていたのが印象的でした。

荒井建設
株式会社

おと高生の作品が村を彩る「まちかど美術館」

7月18日、突如村の中心部の国道40号沿いに現れた美術作品たち。

これは、荒井建設株式会社様のご厚意による地域貢献活動として、おと高とのコラボが実現した『まちかど美術館』です。

「村にとっては、宝であるおと高生。村にいても、自分の作品が多くの方に触れ、反響が生まれ、生徒の今後の活力になるような経験を作り出すことができないかと考え、企画しました」と、企画を行った大森課長が村に対しての想いを話してくれました。

荒井建設株式会社様は、建設会社ながらアートに精通された方々と協働しロゴやHPなどの刷新の取り組みを行うなど、デザイン思考も大事しており、今後もおと高生やアートを通じた協働ができればと話していただきました。



ウチ（住民）にとっては当たり前の環境が、ソトから見ると特別で贅沢な環境となる。音威子府村や企業それぞれのお互いの強みを活かし、今後も小さなチャレンジを積み重ねていきましょう！

◇社会を明るくする運動

7月1日(月)、第74回社会を明るくする運動の実施にあわせて(主唱:法務省)名寄地区保護会の森会長から遠藤村長へ、総理大臣メッセージが伝達されました。この運動は、犯罪や非行の防止、過ちを犯してしまった人たちの更生、すべての国民が理解を深め、安全で明るい地域社会を築くために実施されています。7月は「社会を明るくする運動」の強調月間・再犯防止啓発期間として取り組みが行われました。



◇「飛び出し」には気を付けよう!こぐまくらぶ

7月5日(金)に行われた、第3回のこぐまクラブでは、「飛び出しの危険性」と「自転車の乗り方」について学びました。特に「飛び出しの危険性」について、幼児センターの駐車場で車と人形を用いて事故の発生原因を学びました。飛び出してしまう側だけの視点でなく、車側からの視点も体感することで飛び出しの危険性への理解を深めました。みなさんも車の陰から飛び出したりせず、車や自転車に乗る際は、飛び出しにも注意しましょう!



◇おと高生グループ展【ぼわぼわ】

7月8日(月)から22日(月)まで、交通ターミナルにて、おと高3年生入江あかりさんと、長谷川仁美さんによるインスタレーション展示が行われました。「なんだか落ち着く空間」をテーマに作成され、空間には色々な物が浮かび、様々な音が聞こえてくる、駅にはいるとは思えない引き込まれるような感覚を体験できる空間になっていました。

※インスタレーションは、現代美術の手法の一つで、空間に作品を一つ一つを単に展示するのではなく、意識的表現を加えて空間構成されているものです。



◇八幡神社祭「お神輿」

2019年12月から新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、その影響で2020年以降、八幡神社祭でお神輿を見ることはありませんでしたが、5年ぶりとなる7月23日(火)にお神輿が市街地を練り歩きました。午前中に市街地を周り、各休憩所では、出迎えていただいた方々にお神輿の回転を披露していました。途中からお神輿を見に来たおと高生3名もお神輿を回転する際に加わり、お祭りを楽しんでいました。



◇ジェラート券で地域と人をつなげるきっかけに～ (株) KITAICHI

おと高卒業生で、2023年4月から主にクラウドファンディングを通して地域で頑張る方を応援する会社(株式会社 KITAICHI)を、村内で設立をした佐近航さんから、7月16日(火)におと高へ、17日(水)に幼小中学校へ出向き、村内の子どもたち全員に Gelateria the GreenGrass のジェラート券の寄贈をしていただきました。

「志を持って村に来てくれた高校生や村の子どもたちのために、地域としてできることはないかと考え、今回寄贈させていただくことになりました。村の子どもたちに、村で生まれたジェラートを楽しんでもらいたい。そして、高校生と地域がつながるきっかけの少なさを感じていた中で、ジェラートで人とのつながりができるきっかけになればとの想いで、チケットを贈らせていただきました。町おこし会社として、継続的にこのような取り組みを行っていきたいと考えています」と話されていました。



◇体協ビールパーティー

7月18日(木)に、公民館大ホールにて体育協会主催のビールパーティーが5年ぶりに開催されました。地域企業の出店や、公民館前に多数並んだキッチンカーの協力もあり、約200名近くの人が集まり、開場は大いに盛り上がりしました。



保健福祉センターだより

お便は身体からのお便りです

音威子府村の夏もそろそろ終わりが近付いてきました。今までの暑さに疲れて体調を崩していませんか？さて、今月は日ごろ意識して見ることのない便の形（形状）についてお伝えしたいと思います。

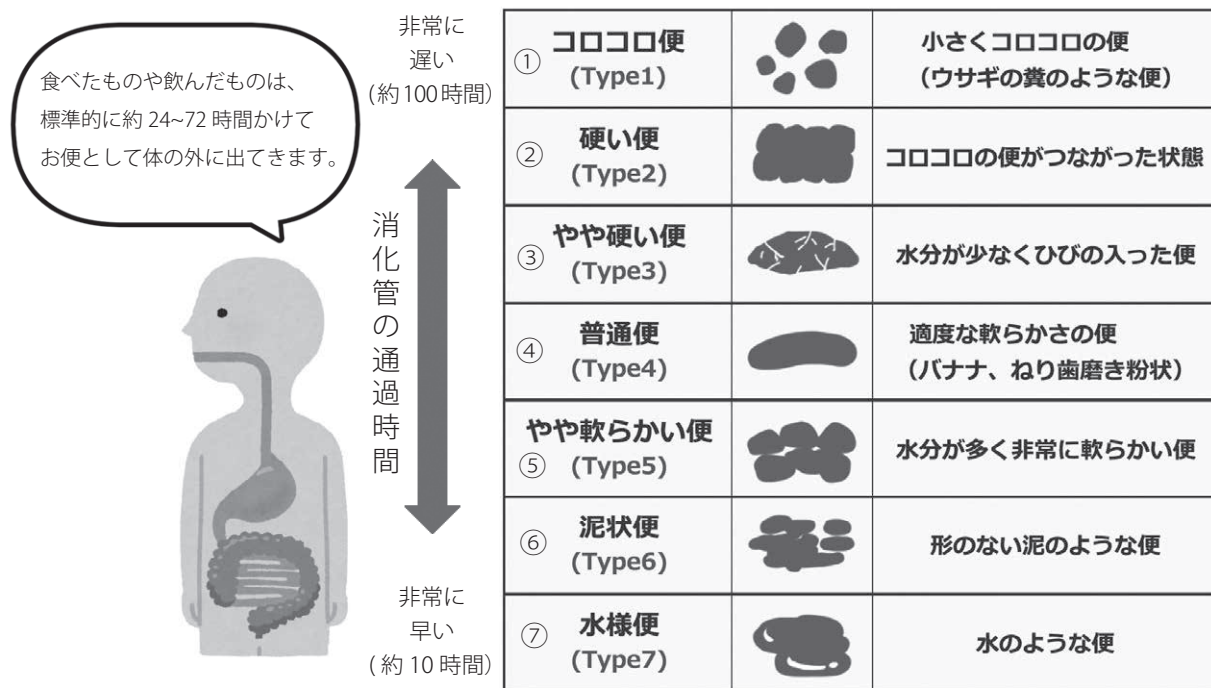
そもそも便は何からできているかというと、いい便の場合は80%が水分であとの20%は食べかすや腸内細菌、腸の表面から古くなってはがれたものです。

標準的な排便回数は1日に1～2回と言われています。3日以上排便がないなど、便が長く腸にとどまり、便を出すのに困難を伴う状態のことを便秘といいます。ただし、排便回数や頻度は個人差が大きく、2～3日に1回の排便でも不快感がない方もいれば、毎日排便があっても量が少ないために便秘と判断される方もいます。大切なのは、排便後に自分がスッキリできているかということです。

自分の便がどのくらいの時間腸の中を通過していたのかを知る手がかりとして、“ブリストル便形状スケール”があります。これは便の状態を表す世界的な基準で、医療現場でも便の形状の表現に用いられています。便の形状タイプが①～②番だった方は便秘と判断されます。意識して野菜や水分を摂ってみましょう。③～⑤番は正常な便です。特に④番は、よく“バナナうんち”と呼ばれている健康な便で理想的な形です。⑥～⑦番の便の方は下痢と判断されます。冷たいものや辛い物、脂っこいものを摂りすぎていませんか？また、心の緊張が続いている可能性はありませんか？

いい便を作るために大切なことは、腸内環境を整えること、ストレスとうまく付き合うこと、規則正しい生活を送ることです。便は体からのお便りですから、水で流す前にぜひどんな便が出たか確認してみてくださいね。

健康・福祉に関するさまざまな情報をお伝えします



図：ブリストル便形状スケール

出典：看護 roo! 看護師イラスト集に一部追記しています。



北海道警察官募集中

◇令和6年度(第2回)北海道警察官採用試験案内

【受験資格】

試験区分	警察官 A 区分	警察官 B 区分
学歴	学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した者(令和7年3月末日までに卒業見込みの者を含む)	A区分以外の者
年齢	平成4年4月2日から平成19年4月1までに生まれた者	
採用予定人数	男性40名 女性20名	男性140名 女性50名

※高度専門士の称号を取得又は令和7年3月末日までに取得見込みの者は、A区分での受験となります。

※A区分に該当するものは、B区分の試験を受けることはできません。

【受付期間】

現在受付中～令和6年8月16日(金)午後5時00分まで

・「知らなかったやりがいいここにあります」

警察官の仕事は交番勤務や犯罪捜査、防犯活動、交通指導取締、災害救助等多岐に渡ります。特技や資格がある方はもちろん、どんな方でも自身の個性をいかすことができます。今まで知らなかったやりがいいに出会ってみませんか。

・「仕事も私生活も充実させたい、その思いをかなえます」

北海道警察は仕事のやりがいいはもちろん、私生活の充実も大切にしている組織です。休暇や給料、育児や介護との両立等、私生活も充実させたい方にとって魅力あふれる組織です。

・「まずは北海道警察について知ろう」

北海道警察では、WEBや対面型など、各種説明会やイベントを開催しています。まずは説明会やイベントに参加して、リアルな道警を知ることから始めましょう。説明会の案内は、北海道警察ホームページや採用センターのSNSをご覧ください。

問名寄警察署 ☎01654-2-0110
美深警察庁舎 ☎2-1110
音威子府駐在所 ☎5-3300



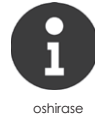
役場新規採用職員のご紹介

令和6年8月1日付で新規採用しました、職員をご紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

◇総務課地域振興室

酒瀬川 諭 (旭川市出身)

長く一般企業で働いていました。自治体での仕事は初めてになり、わからない事が多いですが、一日も早く仕事を覚えて、音威子府村に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



暴力団排除活動の推進

◇暴力団 地域団結 断固拒否

暴力団は、組織の維持・拡大のために、覚醒剤密売や特殊詐欺、密漁、みかじめ料・用心棒料の要求等の犯罪行為を行うだけでなく、組織の関係者を利用して一般社会における経済取引へ介入するなど、様々な手段を用いて活動資金獲得を図っており、暴力団の活性化は様々な犯罪を誘発するだけでなく、暴力団の引き起こす対立抗争を激化、長期化させる原因ともなり、道民の皆様の安全で平穏な日常生活と健全な経済活動に大きな脅威と不安を与えます。

警察は、暴力団の壊滅に向けて強力な取締まりを推進していることから、道民の皆さまも、

「暴力団を利用しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団と交際しない」を合言葉に、暴力団の違法・不当な活動や犯罪被害に関することは、どんな些細なことでも早期に警察に相談、通報する強い意志と勇気を持って、社会から暴力団を追放しましょう。

問名寄警察署 ☎01654-2-0110
美深警察庁舎 ☎2-1110
音威子府駐在所 ☎5-3300



海上保安庁職員募集について

◇海上保安大学校学生採用試験

海上保安庁の幹部職員を養成しています。

【受験資格】

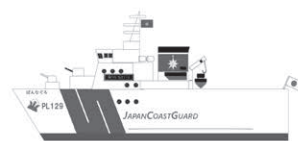
高卒見込みの方、高卒後2年を経過していない方等

【受付期間】

令和6年8月22日(木)から9月4日(水)まで

※入学後は国家公務員として給与が支給され、受験料、入学金、授業料等はかかりません。

詳しくは海上保安庁ホームページをご覧ください。
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>
右下のQRコードからも確認いただけます。



問 留萌海上保安部管理課

☎0164-42-0656



自衛官等の募集について

◇自衛官候補生・一般曹候補生募集のお知らせ

	自衛官候補生(男子・女子)	一般曹候補生(男子・女子)
応募資格	18歳以上33歳未満 ※令和7年4月1日現在	18歳以上33歳未満 ※令和7年4月1日現在
受付期間	受付中～令和6年9月3日(火)締切 ※9月以降の試験も、随時受け付けています。	受付中～令和6年9月3日(火)締切 ※9月以降の試験も、随時受け付けています。
試験日	令和6年9月24日(火)	令和6年9月18日(水)
会場	※駅前交流プラザ よろーな	

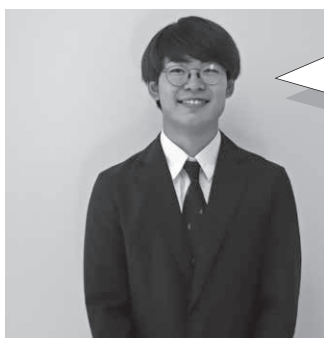
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって上記内容から変更となる場合があります。

問 自衛隊旭川地方協力本部名寄出張 ☎ 01654 - 2 - 3921
問 総務課総務財政室 ☎ 5 - 3311

地域プロジェクトマネージャー、就任！

かとうえる
加藤瑛瑠 (22歳)

出身地 鷹栖町
経歴 おと高卒業生
合同会社工房そなも設立
趣味 ギター制作、洗車
特技 寄木細工



地域プロジェクトマネージャーとしてまずは、充実した音威子府LIFEを！そして、SNSを活用した音威子府の魅力発信と地域施設の持続可能な運営体制の構築に尽力していきます。ユーモア溢れる企画と発信力で、村民の方々と楽しみながら音威子府を盛り上げていきます！

※地域プロジェクトマネージャー(芸術・地域資源活用)とは・・・

今回就任された地域プロジェクトマネージャーは、芸術文化施設の活用、施設を生かした地域資源の掘り起こし、施設を通して村内外の各種連携の構築など、様々な業務を活用していただく責任者となります。



8月26日は火山防災の日

▽情報提供
旭川地方気象台
0166・32・7102



気象台 HP

令和6年6月現在、上川・留萌地方の常時観測火山である十勝岳、大雪山の火山活動の状況は、噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)となっていて、ともに直ちに噴火に結びつく兆候はありませんが、活火山である以上いつ噴火するかわかりません。平時のいまだからこそ、ハザードマップ(火山防災マップ)で噴火による災害範囲や避難経路・避難場所、気象庁が発表する火山の情報の種類や発表のタイミング・入手方法などをしっかりと確認しておくことが大切です。

「火山防災の日」をきっかけに、火山への理解を深め、火山災害の発生に備えましょう。



8月26日は「火山防災の日」です



「ねんきんネット」を活用 しませんか！

「ねんきんネット」は、インターネットを通じていつでもどこでも、パソコンやスマートフォンからご自身の年金記録を確認できる便利なサービスです。また、「ねんきんネット」では、お客様ご自身でさまざまな条件を設定し、将来受け取る老齢年金の見込額を試算できます。ぜひご登録ください。

ご自身の年金記録の確認や「ねんきん定期便」の閲覧、各種通知書の確認などが行えます。

☆確認できること

- ・これまでの年金加入履歴
- ・現在の職業や収入を60歳まで延長した場合の「かんたん試算」
- ・年金受給開始の年齢、年齢ごとの年金の見込額などが、表やグラフで表示されます。
- ・年金加入期間、加入実績に応じた年金額
- ・年金振込通知書や源泉徴収票等を確認及びダウンロードすることができます。

◇「ねんきんネット」のご利用登録は、日本年金機構ウェブサイトの「ねんきんネット」ページにアクセスして、登録を行います。

問「ねんきん定期便」「ねんきんネット」に関するお問い合わせ専用番号
専用番号ナビダイヤル

☎0570 - 058 - 555



新たな北海道総合計画策定 について

北海道庁では、北海道の更なる発展に向け、道民の皆様や市町村をはじめ多くの方々と共に行動していくため、新たな総合計画を策定しました。

この計画の策定に当たっては、総合計画としては初めて、本道の未来を担う小学生から大学生までの若い世代の皆様へ、ご自身の暮らしや地域や北海道の将来に対する思いについて伺ったほか、幅広い世代、地域、職種の方々にも、様々な形で計画の策定に参画いただきました。

新たな総合計画に基づき、道民の皆様、特に本道の未来を担う若い世代が、地域に住み続けたいと思えるよう、多くの方々との力を合わせて取組を進めていきます。

計画の内容を分かりやすくお伝えする出前講座も行っていきますので、詳細については、下記のQRコードからご覧ください。



問北海道庁計画推進課

☎011-204-5630

地域おこし協力隊活動報告

八幡神社祭典パークゴルフ大会 光森 恵理子

八幡神社祭典パークゴルフ大会に参加しました。4グループに分かれて競技を行い、パークゴルフの「パ」の字も知らない私だったのですが、職場の同僚やベテランさんと一緒にコースを回り、楽しい時間が過ぎていきました。しかし、曇りの日でも9ホール×4回を回るのは、私にはかなりハードで最後はへろへろ。普段からプレイされてる方々は、最後までシャンと歩いていて元気でした！パークゴルフは体力がついて、凄いな！と思いました。



- 08/17 (土)
森と匠の村ふるさと納涼まつり
(11:00～)
- 08/18 (日)
ビックリバック!を作ろう!
(エコミュージアムおさしまセンター 13:00～15:00)
- 08/19 (月)
おと高生グループ展示
(交通ターミナル/3年 柳本 和希・馬屋原 天)
- 09/01 (日)
- 08/20 (火)
健康料理教室
(保健福祉センター 10:00～)

▽「おと高応援団」設立!▽

8月中旬よりインターネットサイト上でクラウドファンディングが開始されます。このたび、有志の方々により「おと高応援団実行委員会(代表:佐近航様)」が結成され、その活動の費用を支援していただける方を応援団員として募集するクラウドファンディングがスタートします。

多くの皆さまご支援お待ちしております。

詳細につきましてはインターネット(右記 URL)をご参照ください。

当面の活動内容や支援金の用途は、おと高生や卒業生のチャレンジを応援するものとし、次のとおりとなっています。

- ・おと高生の学びの機会の創出や作品発表イベント等の開催経費
- ・おと高生と応援団員のみなさまとの交流に関する経費
- ・リターンの経費
- ・クラウドファンディングの経費

URL <https://camp-fire.jp/projects/view/777178>

QRコード



本取り組みにつきまして、音威子府村・音威子府村教育委員会・北海道おといねっぶ美術工芸高等学校は応援をしております。

むらの人口
(令和6年7月末現在)

622人

(前月比±0人)

うち男性 322人
女性 300人

世帯数 432戸

交通事故死ゼロ
(令和6年7月末現在)

572日

今月の表紙

♪森の中からドラミング♪

〔八幡神社祭〕

7月23日(火)

お祭り仕様に飾り付けられた階段を、幼児センターの子どもたちが元気に登っていきます。

◇気付けばもうパリオリンピックが始まっていました。前回の東京オリンピックからあっという間に3年が経ったように感じます。

◇僕は八幡神社祭と縁がない!? 去年は残念なことに、新型コロナになってしまい、今年はお神輿を担ぐ予定でしたが、休暇で帰省していた際に濃厚接触者になってしまいました。来年は元気に祭日を迎えたいです!(ふみや)



広報おといねっぶ

令和6年8月号 第599号

◇印刷 (株) 旭川アートプロセス

◇発行・編集 北海道音威子府村役場
〒098-2501 中川郡音威子府村字音威子府
444番地1